

<課題 I> 本年度の成果を用いた実用化イメージ

自動走行システムに用いる通信の研究

本年度

自動走行用の通信性能の検討（デンソーの研究）

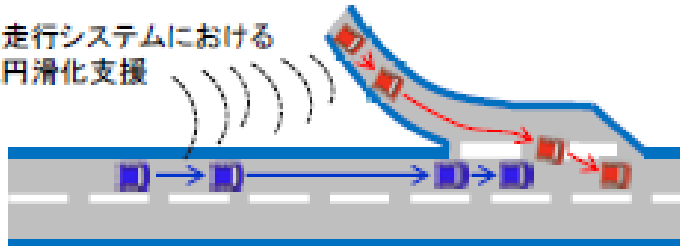
- ・現行通信方式の課題を明確化する

分散協調 ITS 通信技術開発（電通大の研究）

- ・自動走行用の新しい方式提案をする

現行通信方式を高度化するための技術提案と開発

自動走行システムにおける
合流円滑化支援



自動走行システムにおけるメーデーシステム支援



通信の高度化で車両の制御にも余裕時間が創出される。これにより、より円滑な合流支援が可能になったりデッドマンシステムとの協調で多重事故を防止できる。

自動走行システムに用いる先読み情報の研究

本年度

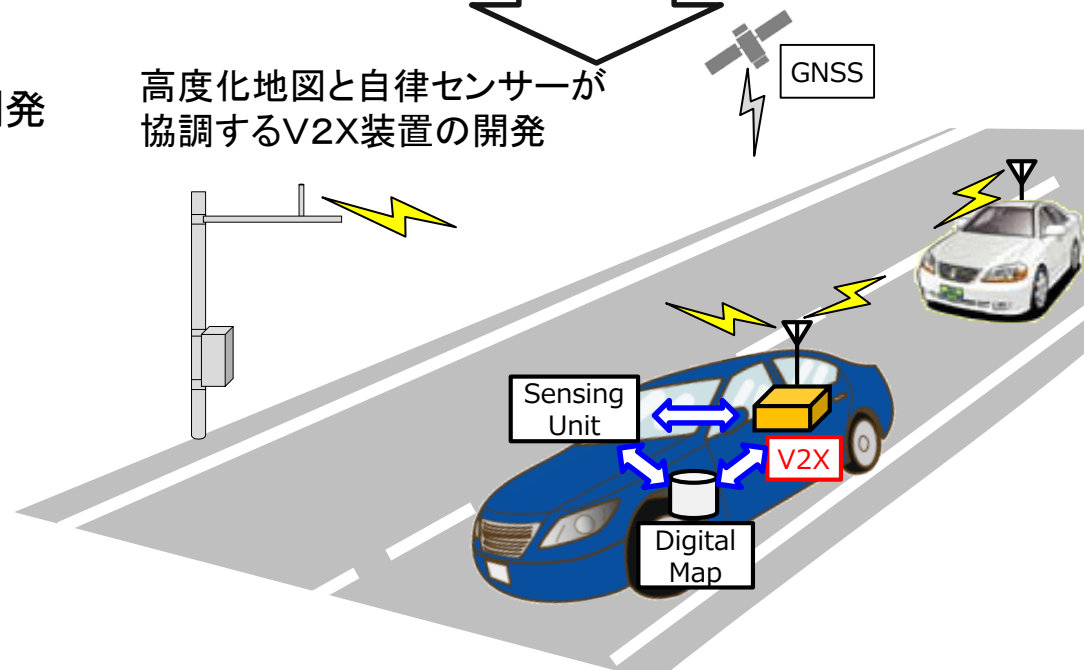
自動走行システムへの通信情報の活用検討（パナソニックの研究）

- ・先読み情報の活用シーン(UC)と活用モデルを提案する

普及車載機での評価や公共交通アプリへの有効性検証（パイオニアの研究）

- ・複雑な道路環境下で車両を特定するための課題を明確化する

高度化地図と自律センサーが
協調するV2X装置の開発



通信の高度化で先読み情報の利用性が向上し余裕時間が創出される。これにより自律センサー利用システムの性能向上がよりいっそう図れ、自動走行システムの普及が加速される。